

CIGS エネルギー環境セミナー 「宇宙開発分野のイノベーションの現状と課題」

日 時	5月19日(金) 16:00 - 17:30
会 場	キャノングローバル戦略研究所 会議室3 (東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸ビル11階)
講 師	岩渕 泰晶 (国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA) 研究開発部門 主任)
モデレーター	芳川 恒志 (キャノングローバル戦略研究所 研究主幹)
言 語	日本語

講演概要

宇宙開発は、技術、システムの開発やこれらに伴ったさまざまな応用分野、需要の拡大、さらにはビジネスの開発が急速に進んでいる分野であり、グローバルな規模で激しい競争が行われている。また、この分野のイノベーション創出に向けたプロジェクトマネジメントやシステムズエンジニアリング等技術経営の知識体系や開発手法などは、欧米においては、行政、金融、教育など社会的なシステムにおいても広範に活用されるにいたっている。講演においては、このような宇宙開発の現状について、歴史的な背景も交えて論じるとともに、実際に生じている宇宙開発分野のイノベーションや課題について述べる。その際、宇宙開発とエネルギー・資源・地球温暖化等との関係についても言及することとしたい。

プログラム

16:00-16:05	趣旨説明 芳川 恒志
16:05-16:45	講 演 「宇宙開発分野のイノベーションの現状と課題」 岩渕 泰晶
16:45-17:30	質疑応答と討論 モデレーター：芳川 恒志

講師紹介

平成 4 年、早稲田大学教育学部社会学科を卒業、同年、宇宙開発事業団（現国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)）に入社。JAXA では国際協定や産学官連携を担当し、日本未導入であったバイドールアクト（知財活用法）の国内紹介、日本が最先端であった太陽電池の NASA への輸出支援等を行う。平成 13 年、文部科学省に出向し、産学官連携と地域振興に従事し、日本版シリコンバレー創出事業等を担当。平成 18 年以降、JAXA 技術経営部門にて、政府系ではほぼ唯一となるプロジェクトマネジメント関連の規定等の制定、100 件超のプロジェクトへの独立的なコスト/リスク評価を担当。平成 26 年以降、最先端ミッションのシステムデザインや男女共同参画等に従事。JAXA 外での活動として、国際資格プロジェクトマネジメント・プロフェッショナル、国際資格プロフェッショナル・コスト・エスティメーター/アナリストを保有。国際標準「コスト評価知識体系」を翻訳、出版。大学、学会、企業で講演等。